

平成28年9月1日

厚生連だより

第55号

かみつが

発行
 上都賀厚生農業協同組合連合会
 上都賀総合病院
 老人保健施設かみつが

編集
 上都賀総合病院年報等編集委員会
 〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
 TEL 0289-64-2161



病院へリポート

厚生連だよりかみつが第五十五号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

このたびの熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り致します。

JA並びに関係機関の皆様には、日頃から厚生連の医療・保健福祉事業運営にあたりましてご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

上都賀厚生農業協同組合連合会(厚生連)は、昭和十年に上都賀総合病院を設立し、平成八年に老人保健施設かみつが、訪問看護ステーションひばり、在宅介護支援センターかみつがを開設し、平成二十年に鹿沼中央地域包括支援センターを開設し、五事業所を運営しております。

厚生連は、日赤、済生会とともに公的三団体として、それぞれに社会的使命を持っています。日赤は災害医療、済生会は生活困窮者の医療、厚生連は地域医療です。全国に日赤は九十二病院、済生会は八十病院、厚生連は百八病院ありますが、厚生連病院は郡部に位置する病院が多く、人口十万人未満の地域に立地する病院が約六割を占めます。それだけに地域医療の担い手になってきました。上都賀厚生連は、栃木県西地域の医療・保健・高齢者福祉を確保するため、診療看護体制の充実強化な



ご挨拶

上都賀厚生農業協同組合連合会
 代表理事会長 黒本 一郎

ど、地域の拠点病院及び施設として急性期医療と在宅復帰に向けた事業の充実を図ってまいります。

施設の概要として、上都賀総合病院は、所在地鹿沼市下田町一丁目三三。地上八階地下一階建て。延べ床面積二万六千二百八〇㎡。病床数三百五十二床(一般三百二床(うち緩和ケア病床七床)、精神五十床)。二十六標榜診療科(内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、心療内科、リウマチ科、内分泌代謝内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、歯科(口腔外科)。各種指定は、救急医療機関、地域がん診療連携拠点病院、脳卒中地域拠点医療機関、さき地域医療拠点病院、災害拠点病院、認知症疾患医療センター、脳卒中専門医療機関、肝疾患専門医療機関、臨床研修病院。医療機器は、がん治療放射線治療装置(リニアック)、磁気共鳴断層撮影装置(MRI)、X線コンピューター断層撮影装置(CT)、核医学診断装置(RI)、乳房X線撮影装置など世界最高クラスを設置。職員数は、約六百人。

老人保健施設かみつがは、所在地鹿沼市上殿町九六〇一。地上四階建て鉄筋コンクリート造。延べ床面積五千四百五十六㎡。入所定員百人(一般五十二床、認知症四十八床。通所リハビリテーション定員八十人。職員数は、約百人。

この二つの施設を中心に、医療・保健・高齢者福祉をもって地域社会に貢献してまいります。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、挨拶と致します。

病院ヘリポート 完成にあたって

上都賀総合病院

病院長 十川 康弘



平成28年3月に病院北側駐車場内に病院ヘリポートが完成しました。そもそも当初の病院建て替え計画になかったヘリポートを、後から追加した経緯について説明したいと思います。今回の病院建て替えは、平成21年の国の地域医療再生計画に栃木県西2次保健医療圏が選ばれて、その再生計画の中心事業として上都賀総合病院の建て替えが据えられたことから始まりました。地元自治体からの援助が乏しく、限られた総事業費の中で、基本設計において免震構造にするか、耐震か、屋上ヘリポートを作るか作らないかで検討されました。当時わたくしは副院長の立場でしたが、限られた予算をできるだけ医療機器整備に使用したいと考え、比較的安価な耐震構造とし、ヘリポートを見送りました。設計ができ、西

松建設を中心とするJVが工事を落札し、平成23年3月11日に本契約を締結しました。あの東日本大震災発災の1時間前のことです。東日本大震災では、災害救助のためのヘリコプターが大活躍し、傷病者の災害地域外への搬出や病院に孤立した入院患者さんの救助に貢献しました。当院は、国から地域災害拠点病院の指定を受けてい

ますが、大震災の経験を踏まえて、災害拠点病院には原則として病院敷地内にヘリポートを整備することと改められました。一方、この同年の1月から獨協医大を基地として栃木県ドクターヘリ事業がスタートしました。ドクターヘリは運用を重ねるごとに、利用が拡大し年間700件を超える出動となり、その出動先として鹿沼



市が最も多く恩恵を受けている実態が明らかになりました。驚くことに、栃木県に空の救急車が飛び交うこととなったわけです。これらの状況を受けて、当初計画しなかったヘリポートの必要性を痛感するようになりました。しかし、いったん建築許可がおりた設計を、構造計算から見直すことは不可能で

した。そこでネットで調べてみると隣の茨城県立中央病院で、駐車場内に鉄骨の柱で地上12mにかさ上げしたヘリポートの事例が目に残りました。早速見学に赴き、施工業者に相談したところ、当院での採用は不可能ではないとのコメントを得ました。そもそも航空法上でのヘリポートは、公共ヘリポート、非公共ヘリポート、場外離着陸場などがあり、順に設置基準が緩くなります。多くの病院ヘリポートが場外離着陸場として許可を受けており、当院でもこのカテゴリーで設置する方針としました。ドク

ろ、一部反対もありましたが、大多数の理事の方のご理解をいただき、無事承認されました。病院建て替えの完工を待たないと、新たな建築許可申請はできないため、平成27年8月の病院建物完成引き渡し後に着工し、本年3月末日に完成しました。そして5月18日どこまでも澄み渡る晴天の彼方から、ドクターヘリが試験フライトとして当院ヘリポートにはじめて着陸しました。県内では、新たに建て替えられた基幹病院にはほとんどヘリポートが備えられています。北部では、那須日赤病院、菅間記念病院、宇都宮では済生会宇都宮病院、県南では栃木医療センターしもつ

が、両毛では足利日赤病院などにあります。当院にも整備することができ、県西医療圏の公的病院として責任を果たすことができたと胸を撫で下ろしているところです。

た。耐荷重量は、ドクターヘリと栃木県防災ヘリが離着陸できる規格としました。自衛隊などの大型ヘリは当院のヘリポートには着陸できません。ヘリポート建築にあたっては、当然資金計画が問題になります。見積額は当初の1億円から震災復興の需要から高騰し最終的には2億を超える金額になりました。県を通じて支給される国からの補助金は3千万弱です。大半は自己資金で賄わなければなりません。理事会に提案したとこ



院内・敷地内は
禁煙となっております。

睡眠時無呼吸検査について

上都賀総合病院

検査科 上澤 理子



二〇〇三年二月に山陽新幹線の居眠り運転事故により、睡眠時無呼吸症候群（SAS）が大きく報道され注目される疾患の一つとなりました。その後も、高速バスやトラック事故など、SASが関与したとされる交通事故は後を絶ちません。

SASの認知度は高くなってきましたが、日中の眠気、常習的ないびき、いくら寝ても疲れが取れない等、自覚症状があるにもかかわらず、未受診者が多いのが現状なのです。

最近では、高血圧・心疾患・糖尿病・脳卒中などのリスクを高めることが明らかになってきておりSASの早期診断、早期治療が重要となります。

SASの検査の流れは、まず簡易検査を行います。自宅でも取り扱い可能な検査機器を使って、普段と同じように寝ている間にできる検査です。

手の指にセンサーをつけ酸素飽和度を調べる検査（パルスオキシメトリー）、鼻の下にセンサーをつけ気流やいびき音から気道の狭窄や呼吸状態を調べる検査があります。ただし、簡易検査では脳波・睡眠の深さなどの詳しいデータを収集することができないため、評価には限界があります。

簡易検査の結果でより詳しい確定診断が必要とされた場合、より詳細な精密検査（入院検査）で睡眠と呼吸の「質」を調べる終夜睡眠ポリグラフ（PSG）検査を行います。PSG検査は、医療機関に泊入院して行います。頭部・顔・身体に電極を装着し、眠っている状態のデータを収集します。調べる項目は以下の通りです。

- 脳波・眼球運動のチェック（熟睡度・中途覚醒など睡眠の質の評価）
 - 呼吸の状態（無呼吸の有無・回数）
 - 口・鼻の気流
 - 血中酸素飽和度
 - 胸・腹の換気運動
 - 筋肉の様子（筋電図による身体の動き）
 - 不整脈・心拍数の変化（心電図）
 - 睡眠時の姿勢
- これらより得られたデータを

解析し、SASの診断と重症度の評価を行います。

当院でも、簡易検査とPSG検査を行っています。簡易検査は指にセンサーを付けて酸素飽和度測定を行っています。

睡眠時のみ検査するので機械を夕方取りに来ていただき、翌日返却していただきます。人間ドックでも泊して検査可能となっています。（左写真）



PSG検査は仕事などへの支障が少ないよう午後三時頃入院していただき、病棟説明、夕食後、検査室で電極・センサー類を装着して就寝、検査を開始します。いろいろな機器を取り付けますが、痛みや電気刺激を伴うものではありません。



朝、目が覚めれば検査は終了です。機器を取り外し、出勤前に退院も可能です。いびきや、睡眠中の無呼吸など家族に指摘されたことのある方、いくら寝ても疲れが取れないなど心当たりのある方、是非簡易検査を受けることをお勧めします。

さあ、あなたも睡眠時無呼吸症候群セルフチェックを試みましょう！

あなたは大丈夫？睡眠時無呼吸症候群セルフチェック

<input type="checkbox"/> しゅっしゅく(常習的)いびきをかく	(1.5点)
<input type="checkbox"/> 肥満傾向がある	(1.5点)
<input type="checkbox"/> 高血圧がある(もしくは高血圧の薬を飲んでいる)	(1.5点)
<input type="checkbox"/> 昼時の眠気、居眠りで困ることがある(仕事中、会議中、運転中など)	(1.5点)
<input type="checkbox"/> 寝つきは悪くないが、夜間の眠りが浅い、またはしばしば目が覚める(イレシの場合も含む)	(1点)
<input type="checkbox"/> いくら寝ても朝醒れが取れない感じがする(もしくは朝しばしば頭痛がある)	(1点)
<input type="checkbox"/> お酒を飲んでいない日でも、夜間寝ている時に息が止まる日がある	(3点)

いかがでしたか？合計三点以上の方は、睡眠時無呼吸症候群かもしれません。簡易検査を受けてみてはいかがでしょう？検査について詳しくは、生理検査室までご相談ください。

—基本理念—
—地域社会への貢献—

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

—基本方針—

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

—患者さんの権利と責任—

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の権利が尊重され、プライバシーを保たれる権利
- 一、病気・検査・治療・見直しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと

職場紹介

事務部 企画課

企画課は、事務部にある7つの課のひとつです。職員総勢2名体制(少数精鋭?)で業務を遂行しています。平均年齢はゆうに fifty over のロートル部隊です。業務が多岐にわたり新規プロジェクト対応など、悪戦苦闘の日々を送っています。

企画課には日々のルーチン業務が存在しません。よって月単位・年単位で目標を達成する計画の立案力と業務管理能力が必要となります。現在取り組んでいる業務は、8月実施予定の外科医体験セミナー事務局、10月に実施予定の日本医療マネジメント学会栃木支部学術集会事務局、平成29年2月に受審予定の日本医療機能評価機構の病院機能評価受審事務局、病院や老健の求人・採用関係事務等を行なっています。これら各種プロジェクトにおける推進役、部門間の調整役などの業務を担っています。



看護師奨学生募集

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～

当院には、看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。

奨学金の返済については、卒業後当院にて看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。

奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033

かみつが厚生連 上都賀総合病院

担当：総務課(3321)

TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468

E-mail : soumu@kamituga-hp.or.jp URL : http://www.kamituga-hp.or.jp

当院患者支援センターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をお受けしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

編集後記

当院にもドクターヘリのヘリポートができました。宇都宮には陸上自衛隊のヘリコプター教育隊があつてそれを見てきたから私はヘリコプターに強い興味があります。今ほほっと飛ばす場所がなくなりました。ヘリコプターはヘリポートがなくなると飛ばせません。ヘリコプターはメインローターの操力で飛びます。すくすくと反作用によってメインローターと反対方向へ機体が回転する。タケコプターで飛ぶと、本当はひたひたの機体は回転してしまふ。これを防ぐためにヘリコプターの尻尾にはテールローターがあります。テールローターはメインローターが回転すると反作用で機体が回転するのを抑えます。このテールローターの回転がホバリング(空中停止)を難しにするので、テールローターの作用で機体には回転を抑える力に加え、機体を横滑りする方向の力を生み出します。メインローターに対してテールローターの方が上がると、じわじわりと横滑りを始めるわけです。ホバリングするときにはこの横滑りを抑えるために、メインローターを少し傾けてその力を打ち消そうとします。するとメインローターの回転面がまっすぐ、テールローターを調整する。という具合にホバリング中のヘリコプターは常に姿勢の変化、力の変化が起きています。ホバリングしている時、パイロットは常に機体の安定を図る操作をしています。栃木県機のドクターヘリはコックピットにEGSという機体です。この機体ではテールローター機体の中に組み込まれ、一般的にヘリコプターに比べてテールローターは自立しません。これはフェースレスシステムという自立したテールローターに接続して事故を起こさないように工夫され、発生する騒音も軽減されているのです。(高山 剛)

一般外来診療表

Table with columns: 診療科目, 受付時間 (初診受付=AM8:00から開始), 備考. Rows include 内科, 内分泌代謝内科, 精神科, 小児科, 外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 放射線科, 歯科口腔外科.

【休診日】日曜日・祝祭日・第2,4土曜日・創立記念日・年末年始

専門外来診療表

Table with columns: 診療内容, 担当診療科, 曜日, 受付時間. Rows include リウマチ・膠原病外来(予約), 神経内科外来(予約), 血液外来(予約), 緩和ケア外来(予約), 1ヶ月健診, 呼吸器外科外来, 乳腺・甲状腺外来(予約), ヘルニア外来, ヘルニア外来(予約), 肝・胆・膵臓外来, 肝・胆・膵臓外来(予約), ストーマ・大腸肛門外来(予約), てんかん外来(予約), 助産師産後外来, 産後診, 補聴器外来(予約), 特殊検査(予約).

*診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。